

相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和7年1月~3月)

昨年不調であった小売業・卸売業は改善に向かい、前期振るわなかった建設業も回復傾向である。製造業と飲食業・サービス業は景況の減退傾向が続いています。全体としては景況は前期並みであり、次期は若干の改善が見込まれます。



ポイント

- ▶ 令和7年1月~3月期の総合業況DIは、▲24と、前期▲24から変わらなかった。前期大幅に悪化していた小売業・卸売業（前期▲40・今期▲24）が大幅に改善し半年前の水準に戻り、建設業（前期▲24・今期▲18）も若干改善した。製造業（前期▲18・今期▲24）と、飲食業・サービス業（前期▲21・今期▲26）はやや悪化した。
- ▶ コメントによると、円安の影響で一部の業界でインバウンド需要や輸出の拡大による好況が見られる。物価高・コスト高は全業種で続いており、金利上昇による悪影響を懸念する声も上がってきている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲20と、今期▲24から4ポイントの改善の見込み。建設業（今期▲18・次期▲13）は引き続き改善が続き、飲食業・サービス業（今期▲26・次期▲16）もかなり回復するとみられている。小売業・卸売業（今期▲24・次期▲24）は、今期並みで、製造業（今期▲24・次期▲30）はDI値の減少が続くと予想されている。



各業界から寄せられたコメント

精密機械設計・半導体製造装置設計支援業

年初は受注量の減少を感じている。半導体も良い話ばかりではなくなってきた。米国の政策の影響が出てくるか心配。

建設、土木、遺跡発掘、リフォーム、修繕、清掃業

公共工事は堅調だが、資材等仕入価格の高騰、いわゆる人手不足、人件費高騰が続き、引き続き先行きが楽観できない。

プロパンガス販売

通常のビジネスは大きな変動なく進んでいる。経費削減効果が出てきて採算はよくなってきている。

飲食店 うなぎ・焼鳥

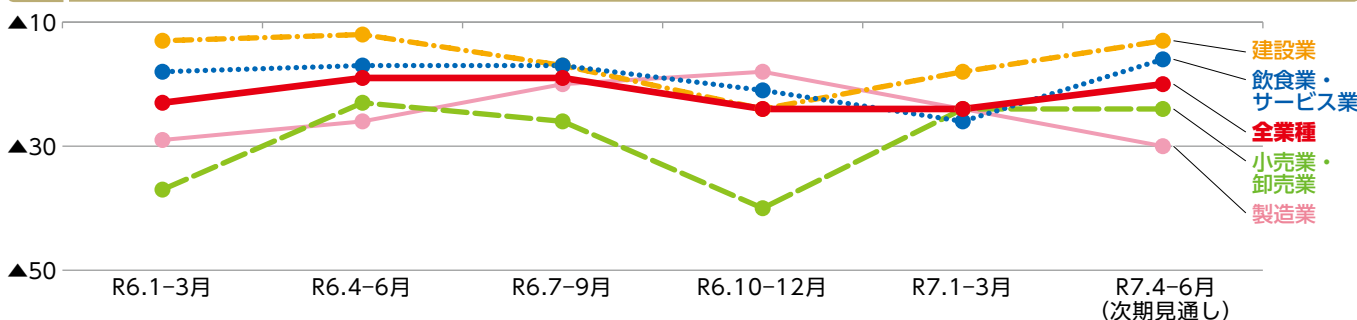
店舗立地によるが、インバウンド効果好調。

宅地分譲、土地建物仲介、賃貸物件管理業

金利が上がり、住宅ローンの借入に影響すると思われる。景気は悪くなると思う。



業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R6.1-3)	前々々期概況 (R6.4-6)	前々期概況 (R6.7-9)	前期概況 (R6.10-12)	今期概況 (R7.1-3)	次期見通し (R7.4-6)
製造業	▲29 ☁️	▲26 ☁️	▲20 ☁️	▲18 ☁️	▲24 ☁️	▲30 ☁️
建設業	▲13 ☁️	▲12 ☁️	▲17 ☁️	▲24 ☁️	▲18 ☁️	▲13 ☁️
小売業 卸売業	▲37 ☔️	▲23 ☁️	▲26 ☁️	▲40 ☔️	▲24 ☁️	▲24 ☁️
飲食業 サービス業	▲18 ☁️	▲17 ☁️	▲17 ☁️	▲21 ☁️	▲26 ☁️	▲16 ☁️
全業種 (総合)	▲23 ☁️	▲19 ☁️	▲19 ☁️	▲24 ☁️	▲24 ☁️	▲20 ☁️

業況天気図例	快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨
	☀️	☀️	☁️	☁️	☔️
	DI値 31以上	DI値 30~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以上

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和7年1月1日~3月31日

回答率：19.5% 回答者数：727件

調査対象：当所会員事業所3,723事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しています。

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>

データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

